

# 憲法 平和 未来



自衛隊を明記する  
憲法改正案を検証する

講演＋対談

参議院で改憲派が3分の2を切った今でも、安倍首相は憲法9条に自衛隊を書き込む憲法改正を実現しようとしています。しかし、私たちに自衛隊の実態は知らされていません。憲法違反の安保法制の下で、自衛隊はどんな任務を負わされているのか、日本はどこへ向かおうとしているのか。そしてメディアは事実を伝えることができているのか。今注目の新聞記者と論説委員をお招きし、みなさんと一緒に考えたいと思います。

講演

望月衣塑子氏 「民主主義とは何か～安部政権とメディア～」  
半田 滋氏 「安保法制下の自衛隊～踏み越える専守防衛～」

講演後対談  
& 質疑応答

## 講師プロフィール

### 望月衣塑子氏

東京都生まれ。東京新聞社会部記者。千葉、神奈川、埼玉など各県警担当、東京地検特捜部担当を歴任。社会部で防衛省の武器輸出、軍学共同をテーマに取材。2017年4月以降は森友・加計問題などを取材し、官房長官会見で質問し続けている。著書に『武器輸出と日本企業』、『新聞記者』、『同調圧力』、『安倍政治100のファクトチェック』、『権力と新聞の大問題』など。



### 半田 滋氏

栃木県生まれ。東京新聞論説兼編集委員。下野新聞社を経て、1991年中日新聞社入社、1992年より防衛庁取材を担当。93年防衛庁防衛研究所特別課程修了。2007年、東京新聞連載の「新防人考」で第13回平和・協同ジャーナリスト基金賞(大賞)を受賞。自衛隊の権限や活動について、新聞や月刊誌に論考を多数発表している。著書に『「戦地」派遣 変わる自衛隊 (2009年JCJ賞)』、『安保法制下で進む！先制攻撃できる自衛隊-新防衛大綱・中期防がもたらすもの-』など。



2019.10/22 (火・祝日) PM1:00

●玉村町文化センター 大ホール (群馬県佐波郡玉村町福島325)

主催：群馬弁護士会 共催：日本弁護士連合会・関東弁護士会連合会 ●問い合わせ：027-233-4804